

AIWEST-DR 2025 に参加しました (2025/8/20-22)

テーマ：将来の防災レジリエンスに向けたグローバル・パートナーシップ
会場：ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL、イギリス・ロンドン) / オンライン
URL：<https://aiwest-dr.usk.ac.id/>

2025年8月20日～22日、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) にて、第17回「持続可能な津波災害復興のための国際ワークショップ & エキスポ」(AIWEST-DR 2025) が開催されました。本会議は、主催の UCL に加え、共催としてシアクラ大学津波防災研究センター (TDMRC)、東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS)、マレーシア国防大学 (UPNM)、ガジャマダ大学 (UGM)、インドネシア防災専門家協会 (PIT-IABI)、インドネシア地理学会 (IGI)、シドニー大学が参加しました。

AIWEST-DR 2025 では、2004 年インド洋大津波をはじめとする世界各地の災害における人々の苦難、被害、復興の経験が共有されました。今年のテーマは「将来の防災レジリエンスに向けたグローバル・パートナーシップ」であり、インドネシア国外での開催は、今回が 3 回目となります。

初日は、UCL グスタフ・タック講堂での開会式から始まりました。基調講演は、UCL のヘレン・ジョフ教授およびシアクラ大学 TDMRC のエラ・メイリアンダ博士により行われました。また、在英国日本大使館からの祝辞を、当研究所のサッパシー・アナワット准教授 (津波工学研究分野) が代読しました。夕刻には、ウィルキンズ・ビルディングの日本庭園にて懇親会 (ネットワーキング、ドリンク、カナッペ) が行われました。

2 日目は、当研究所長・栗山進一教授 (災害公衆衛生学分野) による基調講演「行動の変化が災害時の命を救う」が行われました。この講演は、Nature 誌「World View」(2025 年 8 月 19 日号) に掲載された論考に基づくもので、防災を公衆衛生的アプローチとして捉えることの重要性を訴えました。栗山教授は、「防災行動は社会規範となるべきである」と強調し、医療専門職と防災担当者の協働の必要性を示しました。

続いて、ボレー・セバスチャン准教授 (インクルーシブ防災学分野) の司会による「インクルーシブな地域防災力と防災教育」に関するセッションが開催されました。本セッションでは、複数の当研究所のメンバーが研究成果を発表しました。朴慧晶助教 (災害医療国際協力学分野) は「障害者の防災準備：2004 年インド洋津波からの証拠」、石川美希助教、高橋利恵子助手 (共に上廣防災学寄附研究部門)、菅井裕行特任教授 (客員) (インクルーシブ防災学分野) は「聴覚障害者との交流を通じた教職員の意識変容 — 防災対応に焦点をあてて」、そしてゲルスタ・ユリア准教授 (災害メモリー学分野) は「『私たちもここにいた!』紙芝居を通じた多様な災害経験の伝承」を発表しました。

3 日目には、サッパシー准教授が「沿岸地域におけるレジリエンスとイノベーションのための持続可能なシステム」と題した特別セッションを主催し、自身はマルチハザード評価について講演しました。また、「災害とその軽減」セッションでは、副所長の越村俊一教授 (災害ジオインフォマティクス研究分野) が「津波デジタルツイン：その概念、進展、応用」と題する最新研究を発表しました。続いて、博士課程学生のヘイリー・レグット氏 (津波工学研究室 / UCL) が「将来の海面上昇を想定した気仙沼市における津波防御性能評価」を発表しました。

最終日には閉会式が行われ、越村副所長および主催者の挨拶で締めくくられました。本会議は、各国・各参加者間の国際協力の活性化と、過去の災害から得られた重要な教訓を強調するものとなりました。最後に、AIWEST-DR 2026 がタイ・バンコクのチュラロンコーン大学で開催されることが発表されました。

文責・写真提供：ボレー・セバスチャン (インクルーシブ防災学分野)
サッパシー・アナワット (津波工学研究分野)
マリ・エリザベス (国際研究推進オフィス)
マス・エリック (災害ジオインフォマティクス研究分野)

(次頁へつづく)



基調講演 栗山教授



沿岸コミュニティにおけるレジリエンスとイノベーションのための持続可能なシステム
特別セッション



当研究所メンバー 集合写真



閉会の辞 越村教授



AIWEST-DR 2025 最終集合写真 「さようなら、バンコクでまた会いましょう！」

当研究所からの発表者とタイトル

発表者・共著者	所属	講演のタイトル
Hyejeong Park, Sébastien P. Boret	International Cooperation for Disaster Medicine Lab, IRIDeS	Disaster preparedness of persons with disabilities in Banda Aceh: Evidence from the 2004 Indian Ocean Tsunami
Miki Ishikawa, Rieko Takahashi, Hiroyuki Sugai	Uehiro Disaster Risk Reduction Research Division, IRIDeS	Changing Faculty and Staff Attitudes through Contact with Hearing-Impaired Colleagues: Focusing on Disaster Response
Julia Gerster, Kaoru Ueda	Disaster Memory Studies Lab, IRIDeS	We Were Here Too! Conveying Diverse Disaster Experiences through Japanese Paper Theater (Kamishibai)
Bruno Adriano, Cesar Jimenez, Erick Mas, Shunichi Koshimura	Disaster Geo-informatics Lab, IRIDeS	Reassessing Major Earthquakes in the Central-South American Region to Enhance Tsunami Hazard Evaluations
Anawat Suppasri, Naruethep Sukulthanasorn, Ryuta Enokida, Shinichi Kuriyama, Nattapon Trumikaborworn, Ratchaneekorn Thongthip	Tsunami Engineering Lab, IRIDeS	The 2025 Myanmar Earthquake: Fact-findings for creating resilience in Thailand against future earthquakes
Anawat Suppasri, Syamsidik	Tsunami Engineering Lab, IRIDeS	Multi-hazard assessment (Special Session: “Sustainable System for Resilience and Innovation in Coastal Community”)
Shunichi Koshimura, Yuichiro Tanioka, Yusaku Ohta, Erick Mas, Bruno Adriano, Ayumu Mizutani, Akihiro Musa, Yoshihiko Sato, Hiroyuki Takizawa, Hiroaki Kobayashi	Disaster Geo-informatics Lab, IRIDeS	Tsunami Digital Twin: Its Concept, Progress, and Applications
Aiko Sakurai, Mizan B.E. Bisri, Bethany Meidinger, and Rina Suryani Oktari	Kobe University, Disaster Education Research and Implementation Lab	Two Decades After the Indian Ocean Tsunami: Assessing School Disaster Preparedness in Banda Aceh
Elizabeth Maly, Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Takashi Oda	International Research Collaboration Office, IRIDeS	Sendai Bosai Leaders: Localized community-based disaster risk reduction from Sendai
Ryo Saito, Akihiro Shibayama, Fumihiko Imamura	Cognitive Sciences Lab, IRIDeS	Mini Electric Mobility for BOSAI: Navigating Dynamic Scenarios and Phases for Inclusive Resilience in Motion
Sébastien P. Boret, Hyejeong Park	Inclusive DRR Lab, IRIDeS	Evacuation challenges of people with disabilities during disasters in Japan